

人間の都市

菊竹清訓

井上書院

1. 都市への提案

- ① 塔状都市1958—住むことへの挑戦—
- ② 海上都市1958—海洋開発の基地—
- ③ 海洋都市1960—代謝空間のモデル—

2. 市民の都市

3. 都市デザインの方法論

4. 環境産業と都市住宅

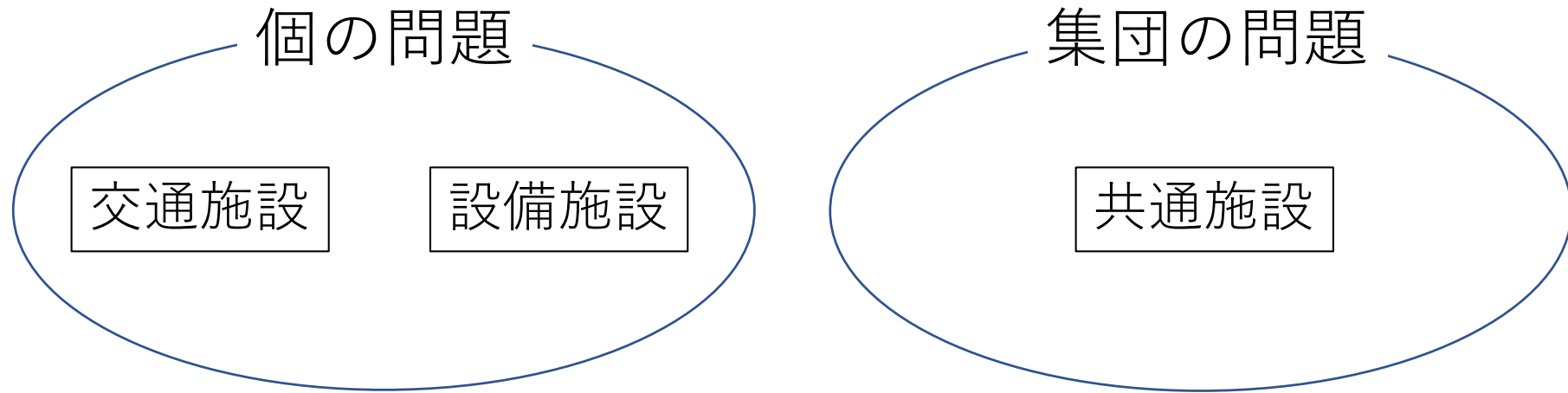
5. 都市環境の進化

「住む」という問題

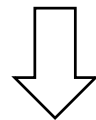
1. 一つの家族単位（個）
 2. 他の家族との関係（集団）
- ） → 都市に「住む」

2つの問題を一緒に扱う必要がある

「住む」という問題



矛盾なく統一的に考慮



「住む」という問題の真の解決


「住む」ことの変化

	過去		当時
自然的条件	大	⇒	小
人工的条件	小	⇒	大

人工的条件が優位だが、2つの条件の調和が重要

なぜ、垂直な人工土地か

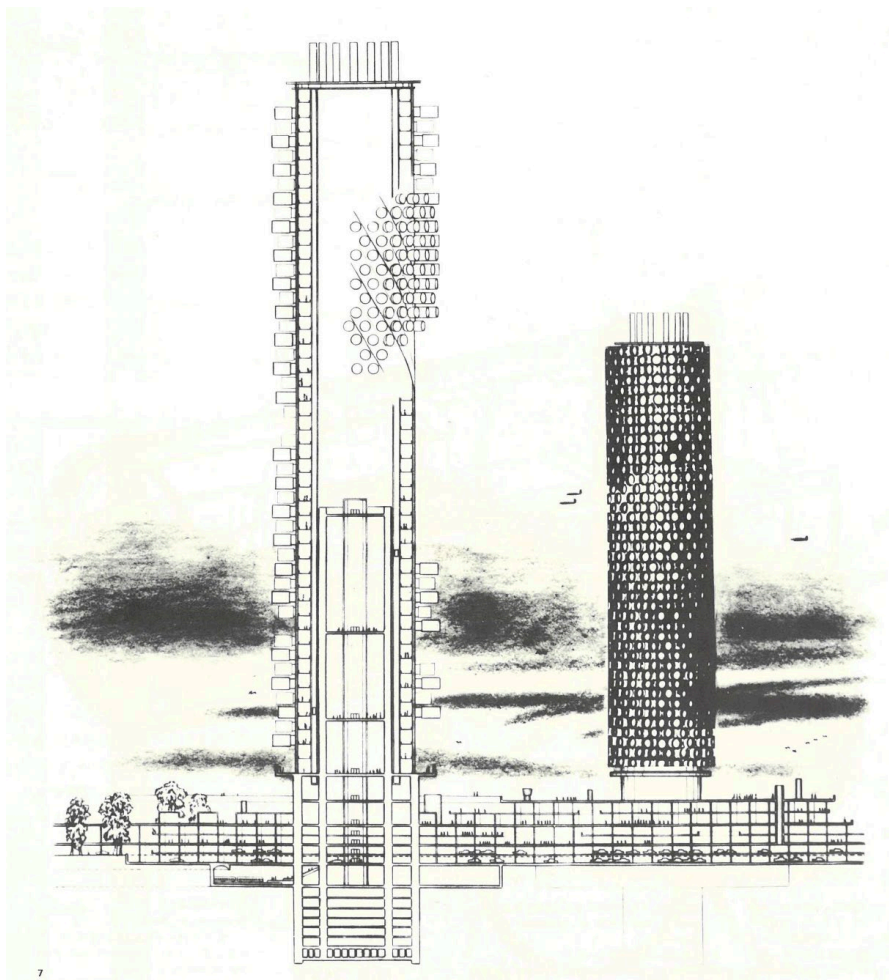
水平な人工土地の限界

- 
- 土地の所有権問題（バラバラで無計画な空間造成）
 - 個の問題の解決が困難

垂直な人工土地

- 所有権 → 居住権 → 都市の開発を容易にする
- 個の問題が解決

塔状都市の提案



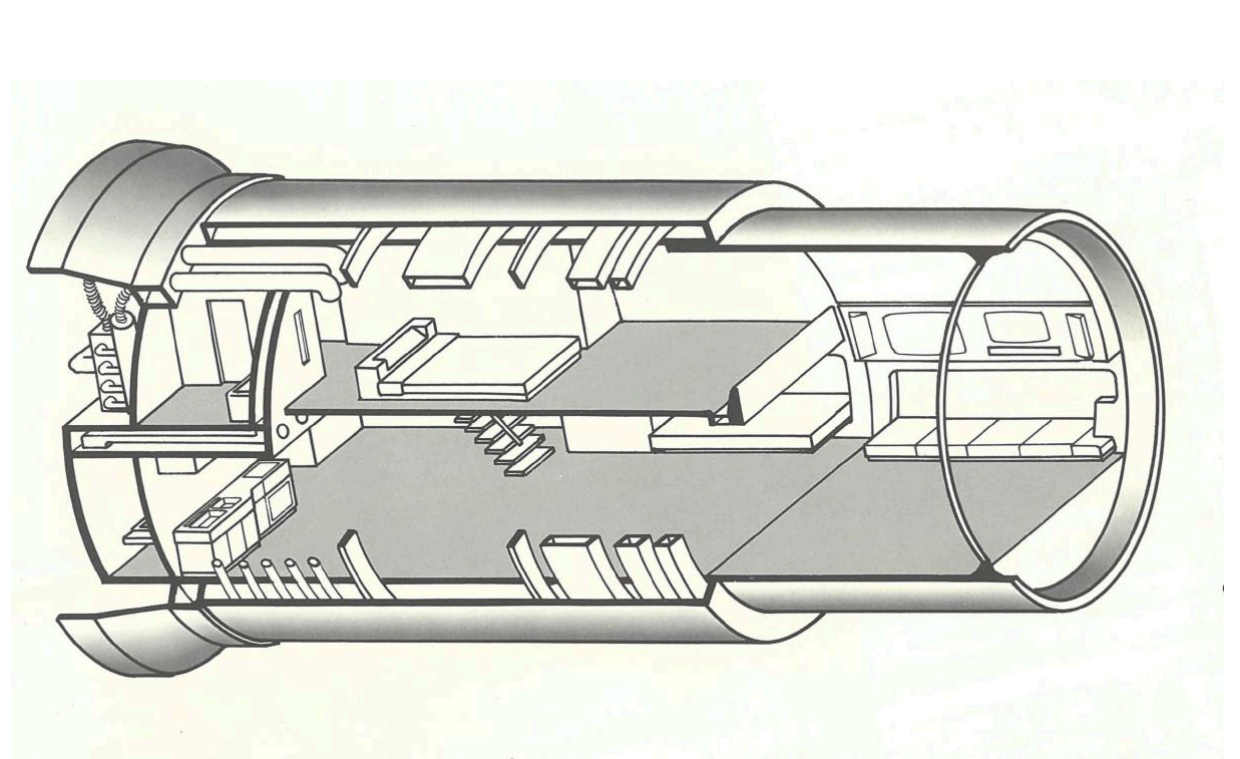
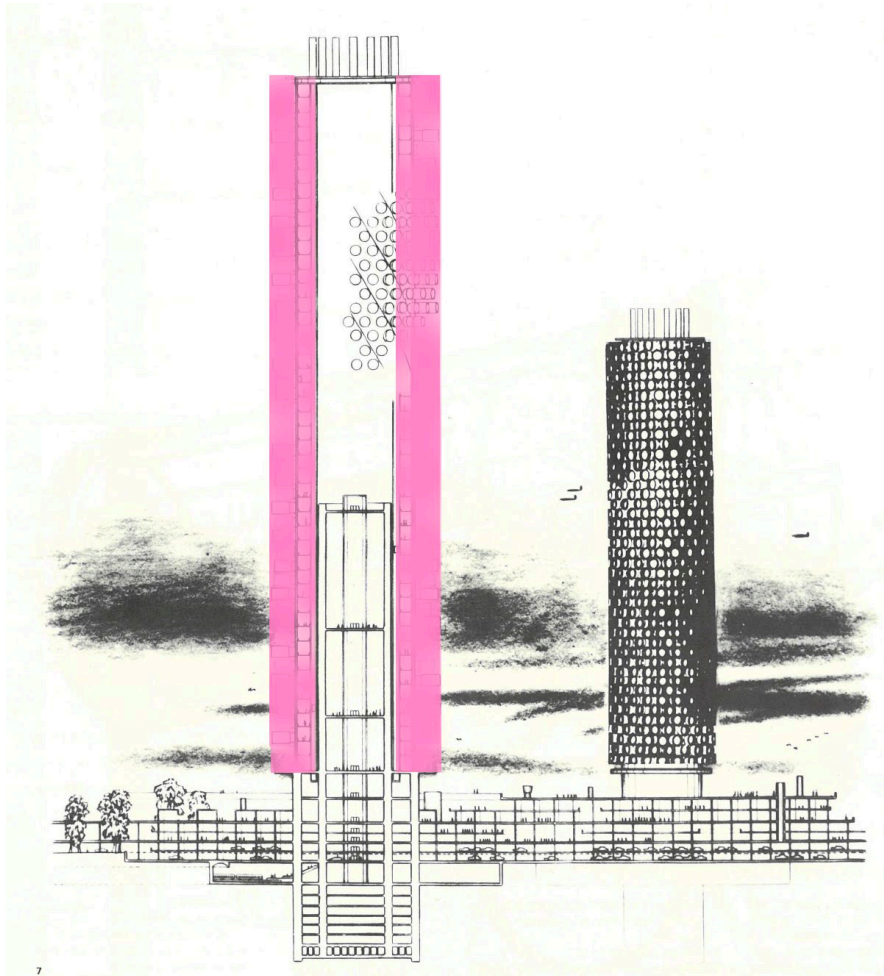
1. 1250戸の住居単位
2. 人工土地にあらゆる設備の諸配管
3. 塔の基底部に共通施設・管理施設・設備施設
4. 水平交通に負担をかけない垂直交通



個・集団の問題が**一体的**に計画

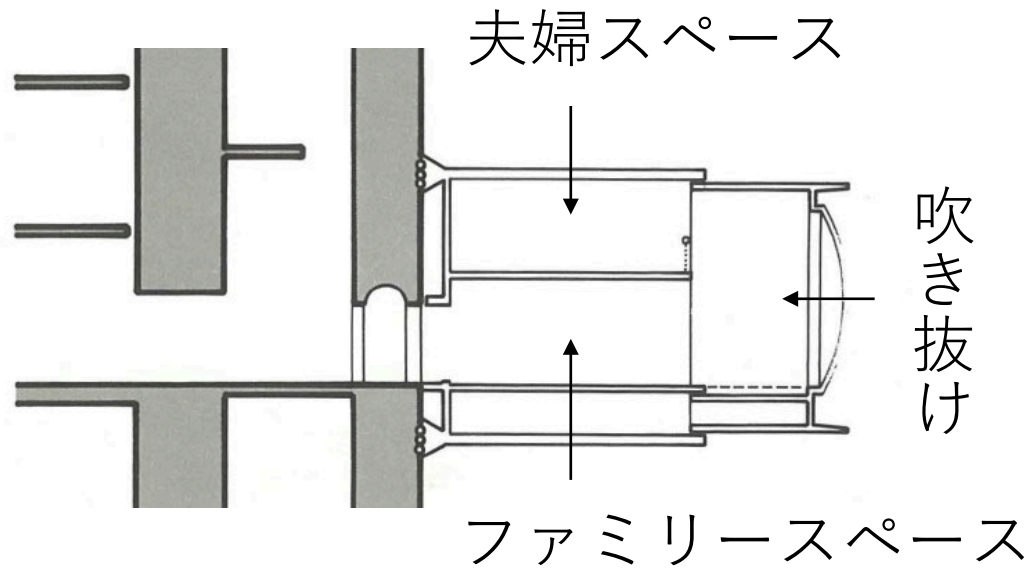
塔状都市1958の提案

1. 1250戸の住居単位

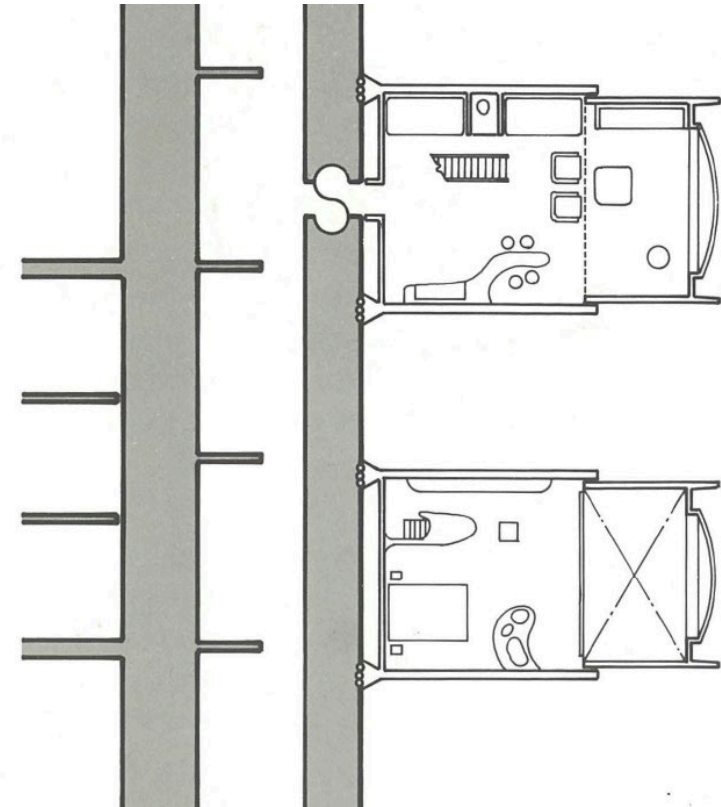


住居ユニットの内部

塔状都市1958の提案

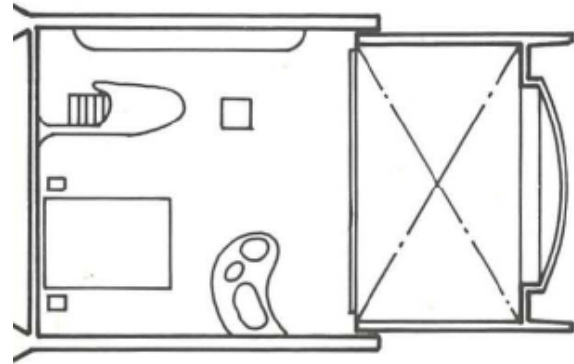


住居ユニット断面図

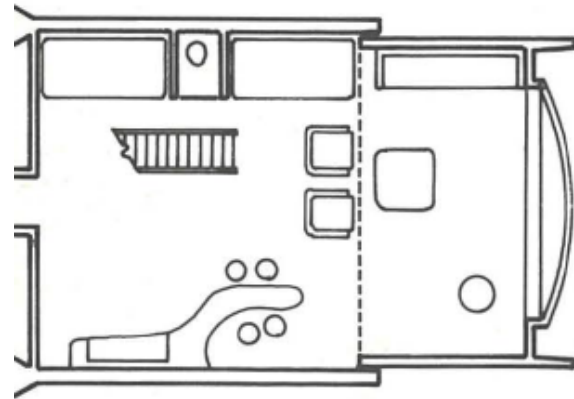


住居ユニット平面図 上：ファミリースペース
下：夫婦スペース

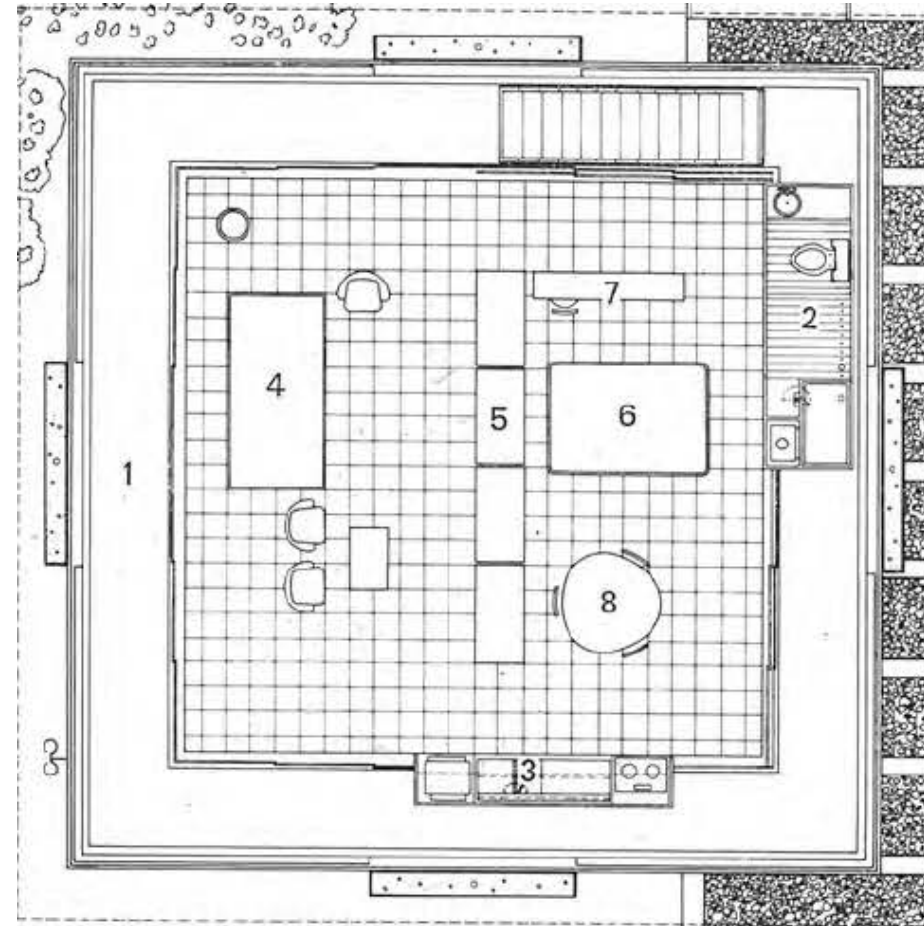
塔状都市1958の提案



夫婦スペース平面図

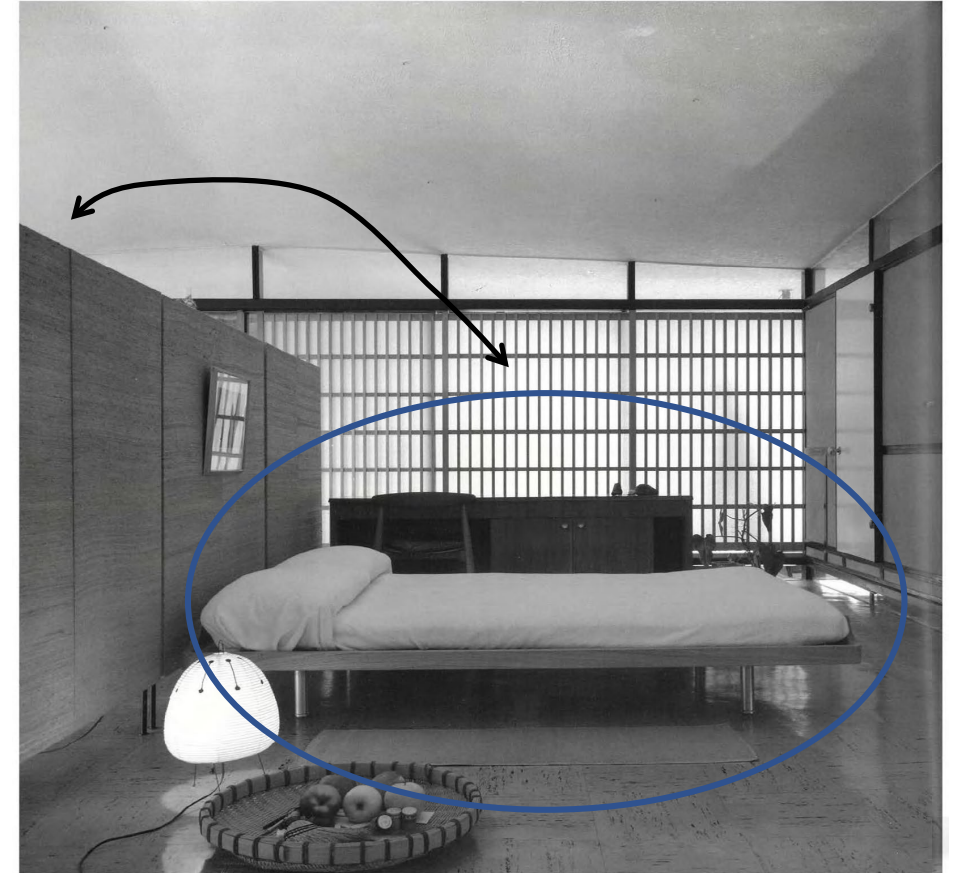
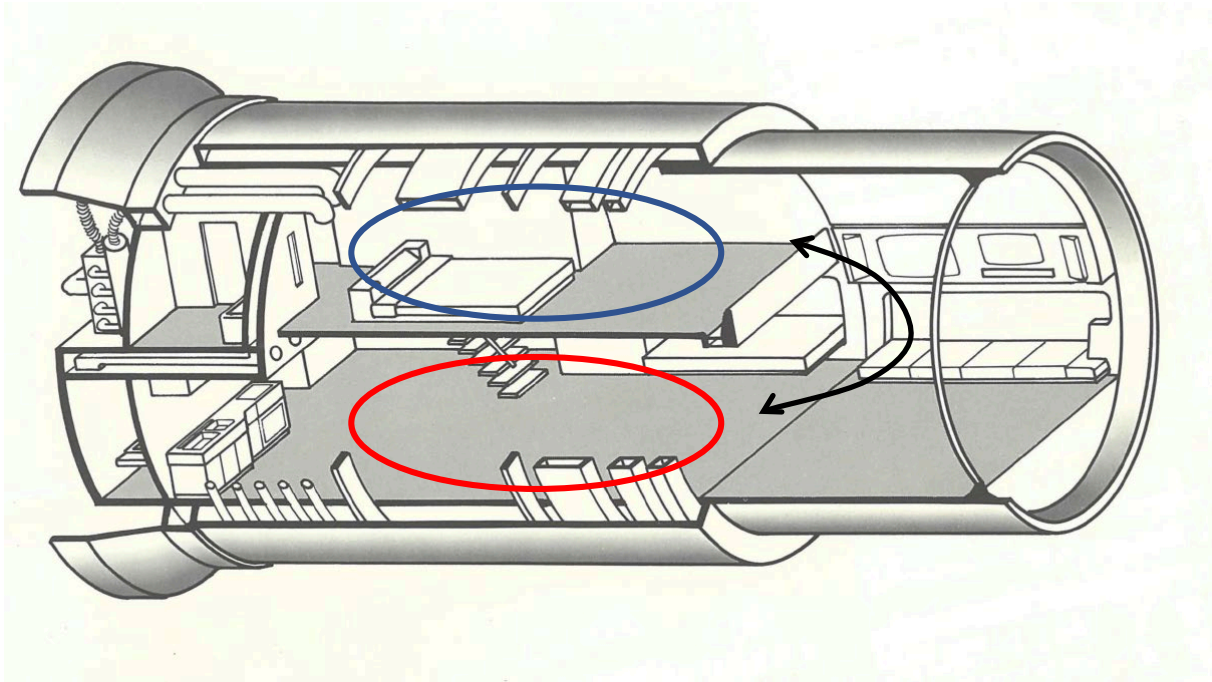


ファミリースペース平面図



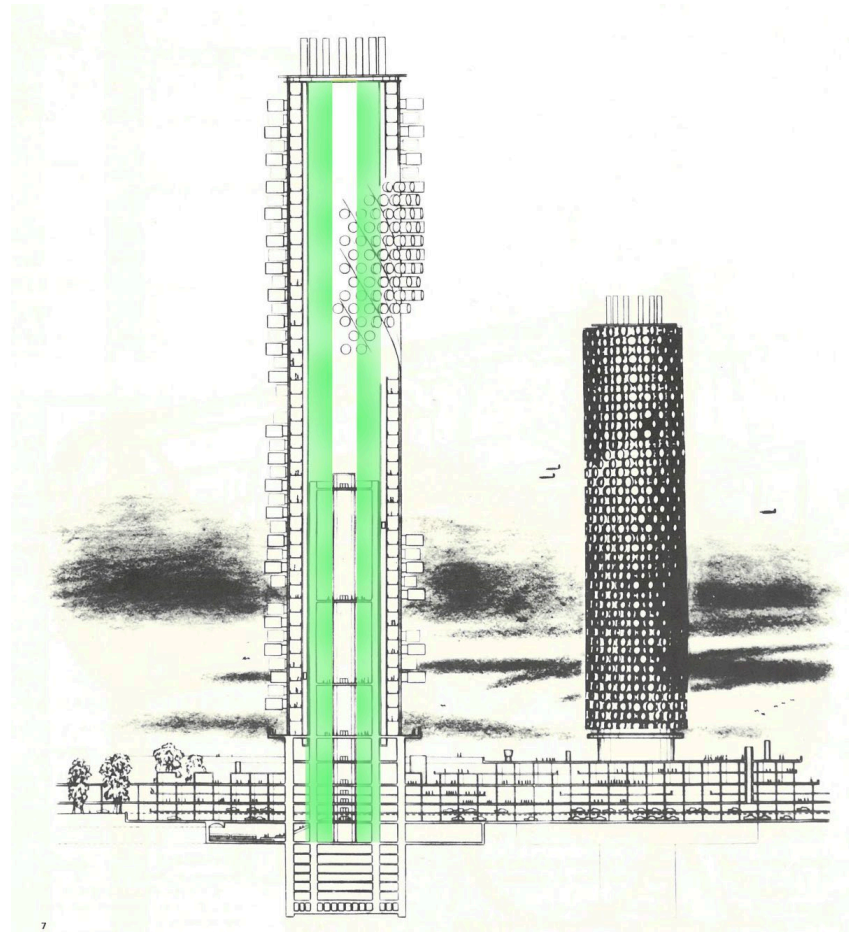
スカイハウス平面図

塔状都市1958の提案

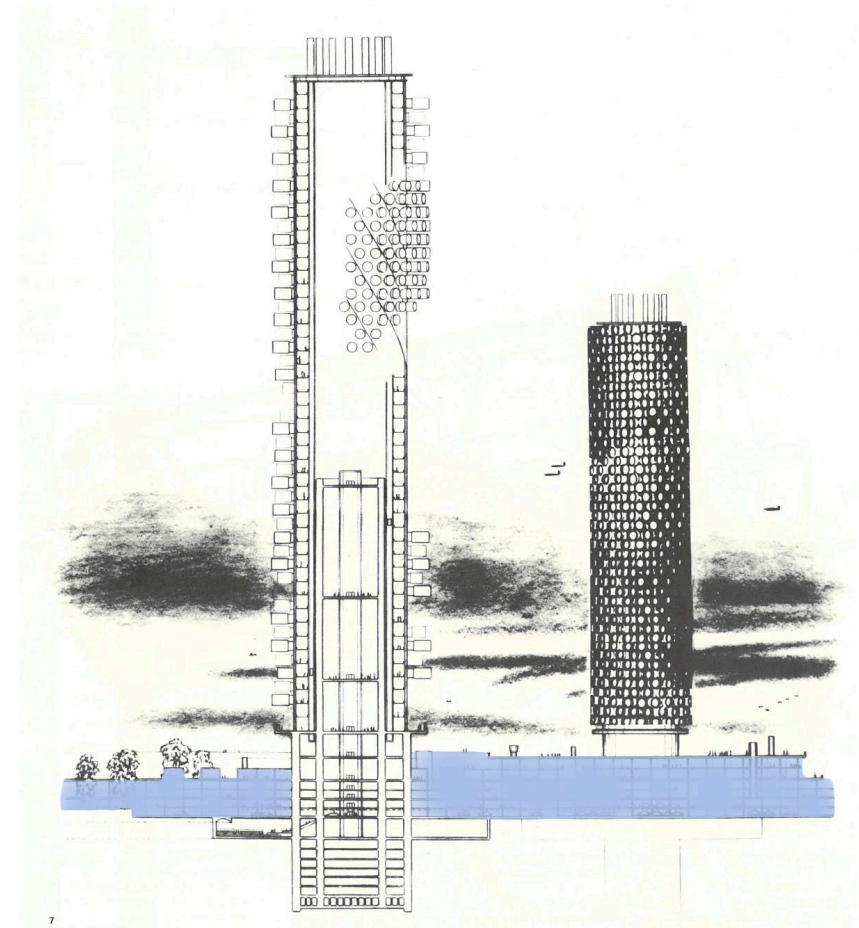


塔状都市1958の提案

2. 人工土地にあらゆる設備の諸配管

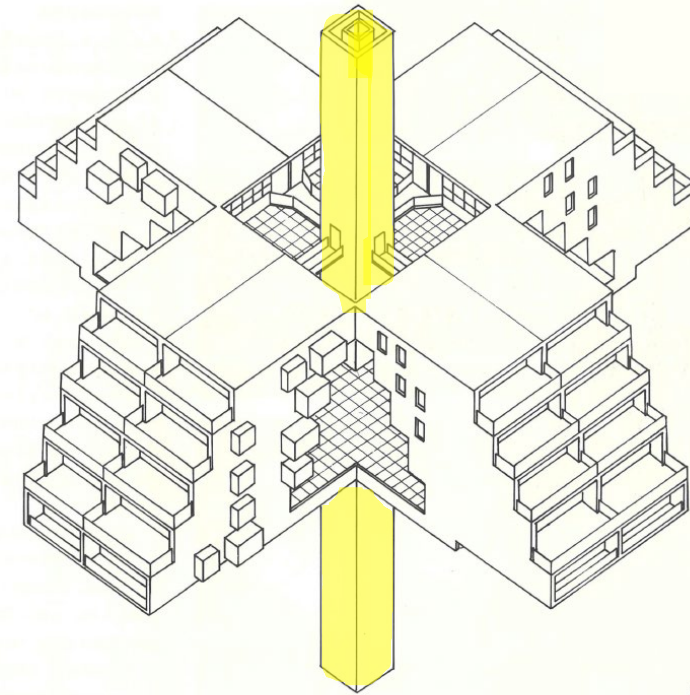
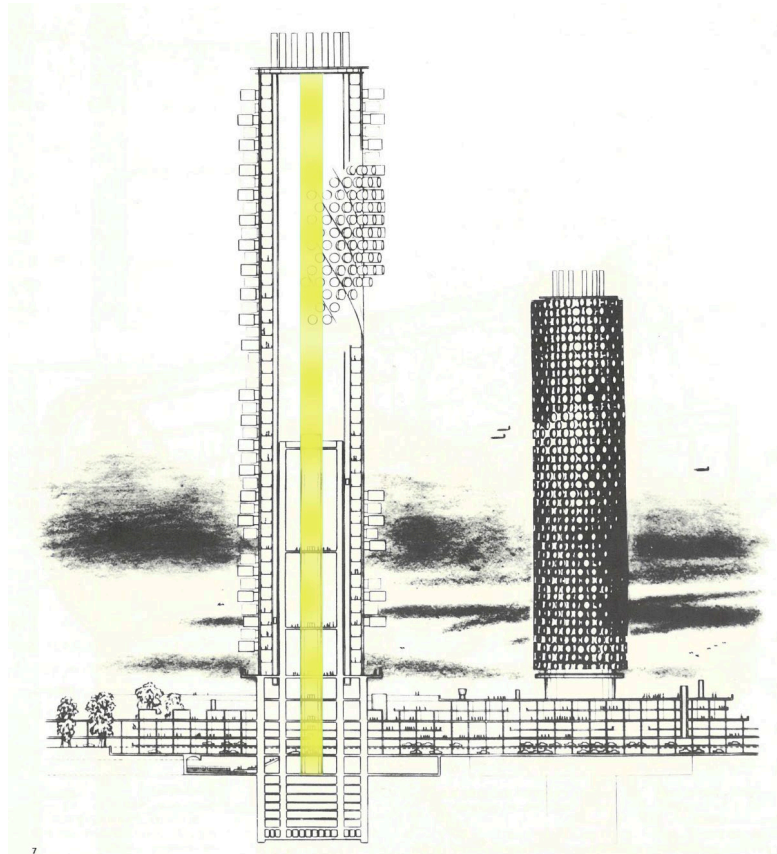


3. 塔の基底部に共通施設・管理施設・設備施設



塔状都市1958の提案

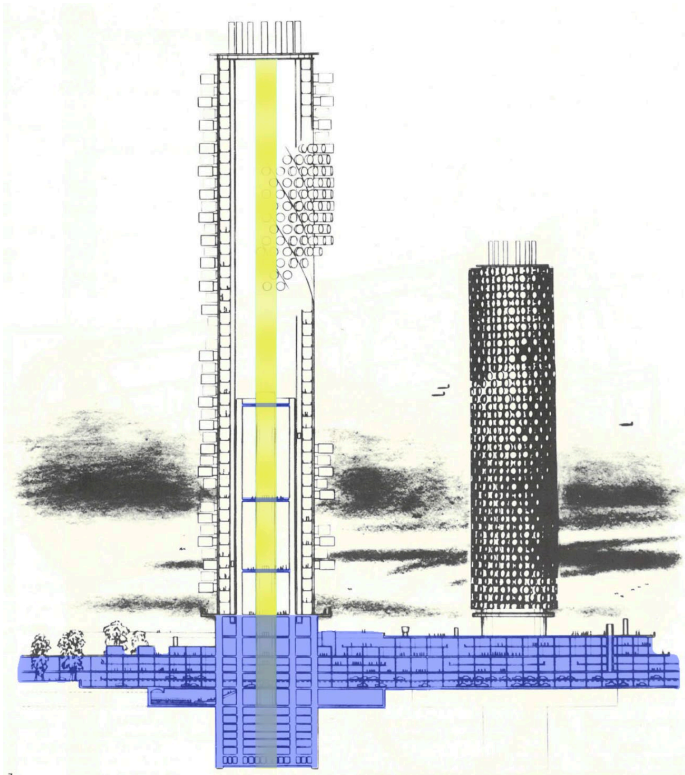
4. 水平交通に負担をかけない垂直交通



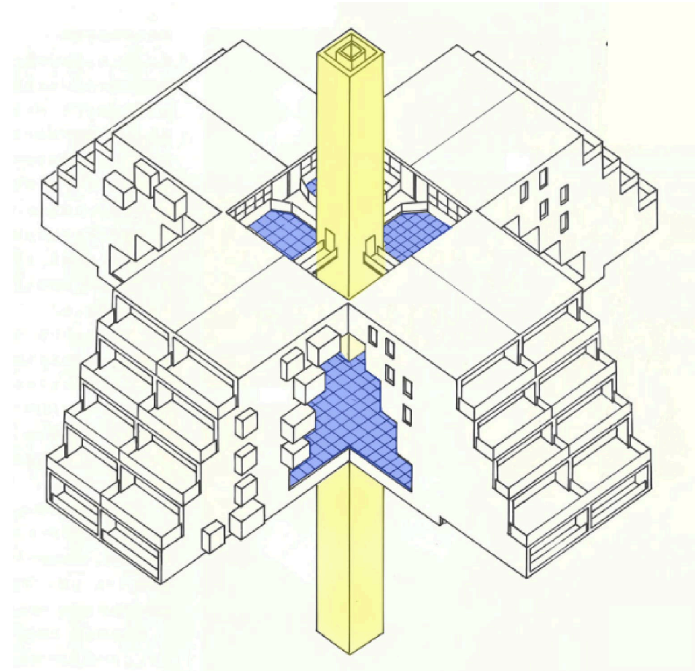
樹状住居

補足

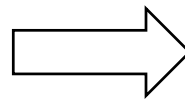
1250戸の住居単位を支えるコミュニティの構造



5階（40戸）ごとにコミュニティスペース
（研究に基づく）



コミュニティを意識



塔状都市・樹状住居の垂直交通（黄）とコミュニティスペース（青）

人間の都市

菊竹清訓

井上書院

1. 都市への提案

- ① 塔状都市1958—住むことへの挑戦—
- ② 海上都市1958—海洋開発の基地—
- ③ 海洋都市1960—代謝空間のモデル—

2. 市民の都市

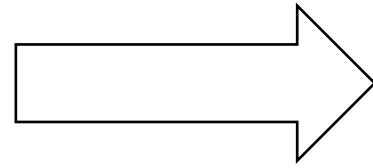
3. 都市デザインの方法論

4. 環境産業と都市住宅

5. 都市環境の進化

大陸文明

闘争の歴史



海洋文明

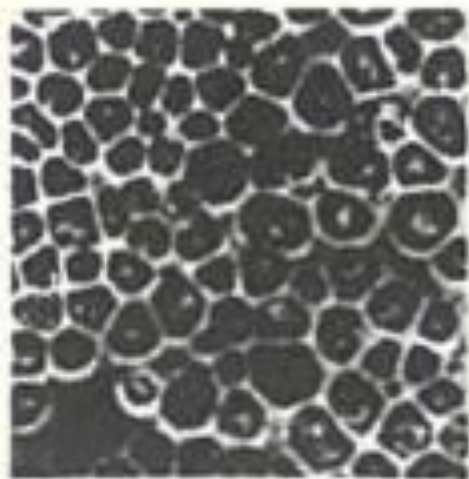
希望の歴史

P36 L12

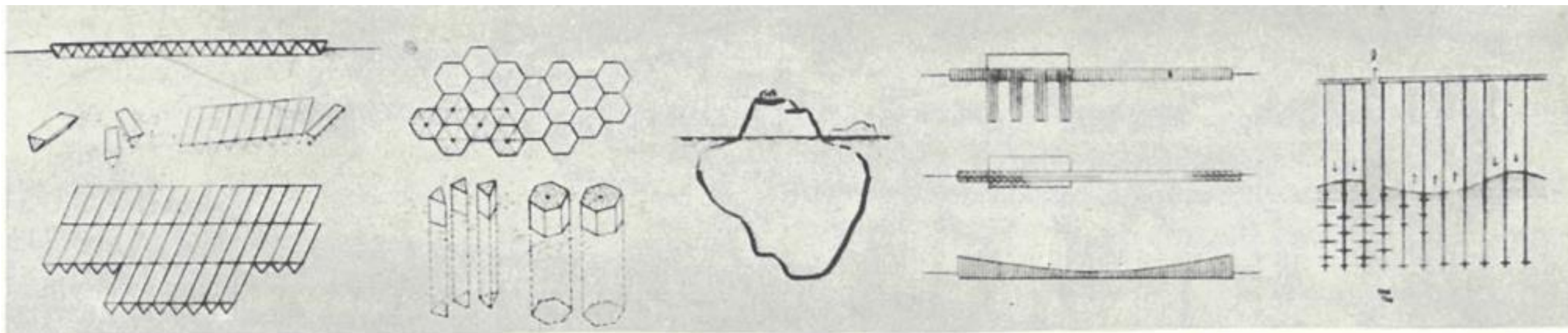
いつでも必要なときに望ましい位置に移動してゆけばよい。

海上都市は動く都市である

提案 その1

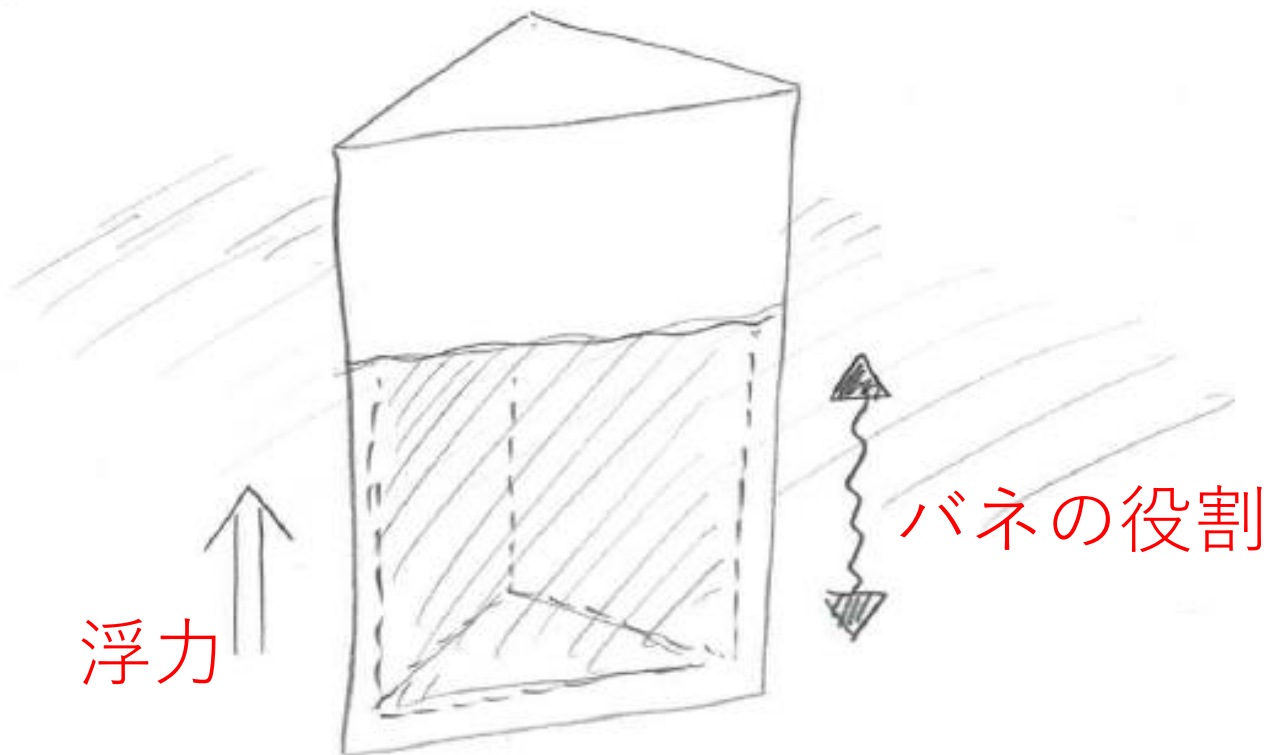
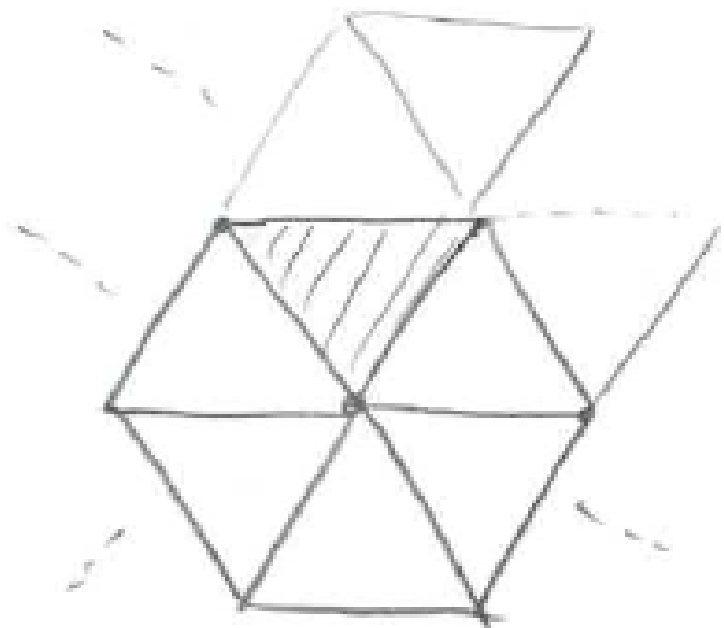


鬼ハスのように、広々と
海に浮かぶこの提案は、
正三角形のコンクリート
製密閉型ユニットによっ
て組み合わされ、緊結し
都市の人工地盤をつくり
上げている



提案 その1

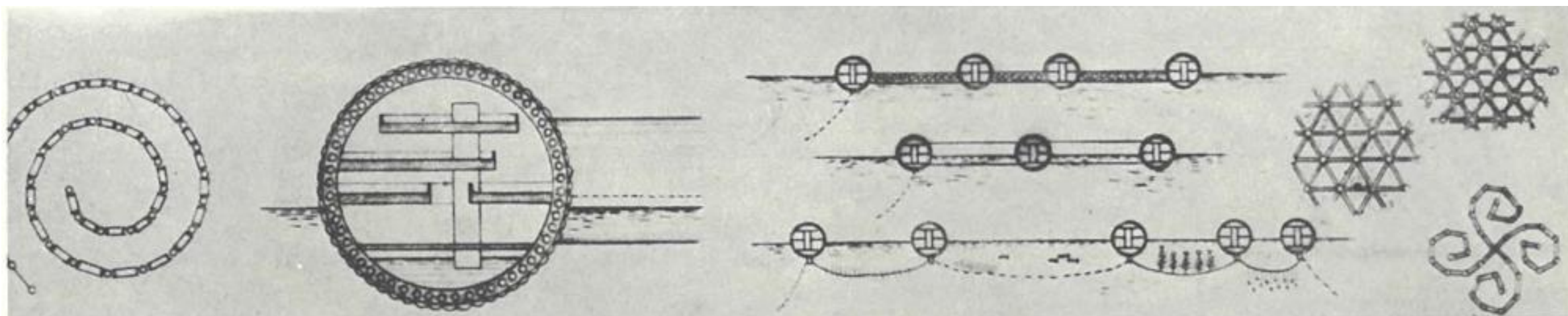
P38 L13 流動する海を覆い、海の波動を積極的に活かしてゆこうとする



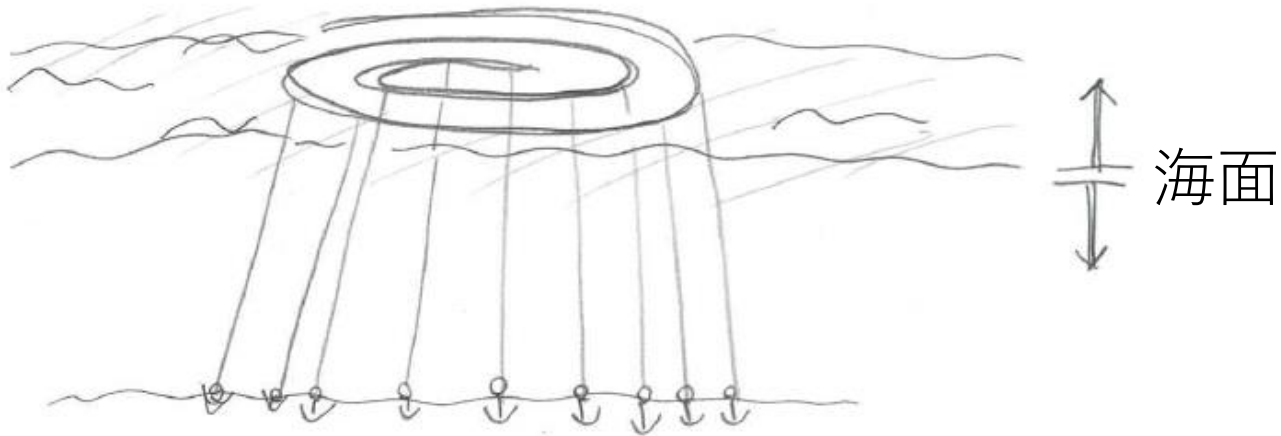
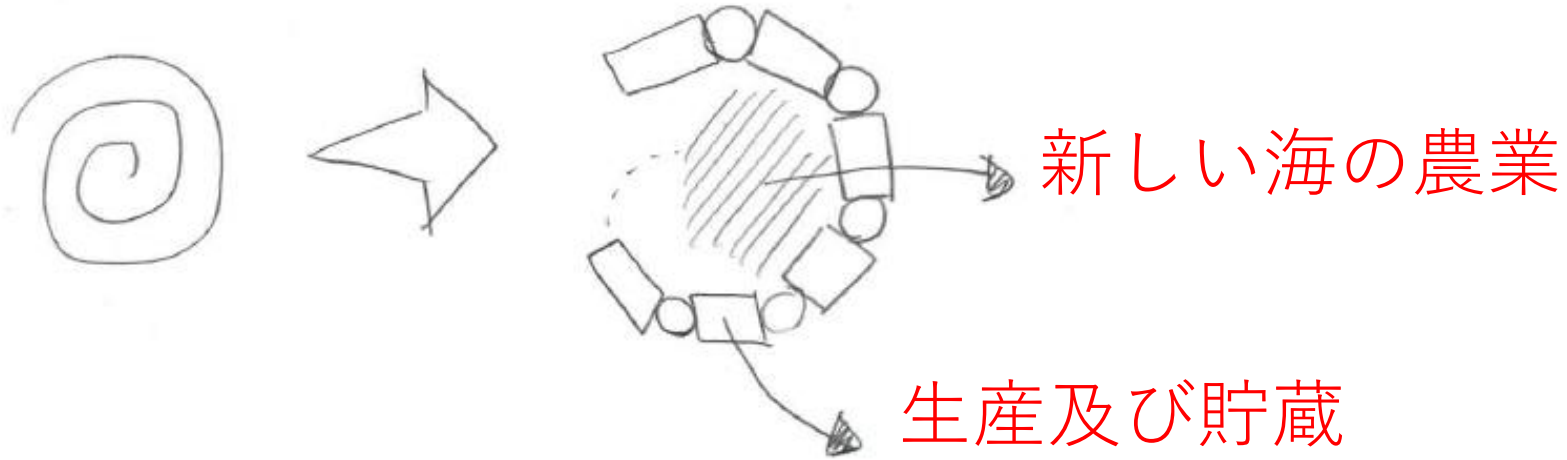
提案 その2



浮遊した球型と円柱型の
二つのブロックの連結は、
丁度骨と関節のような関
係で接続し、拡大増殖が
できる



提案 その2



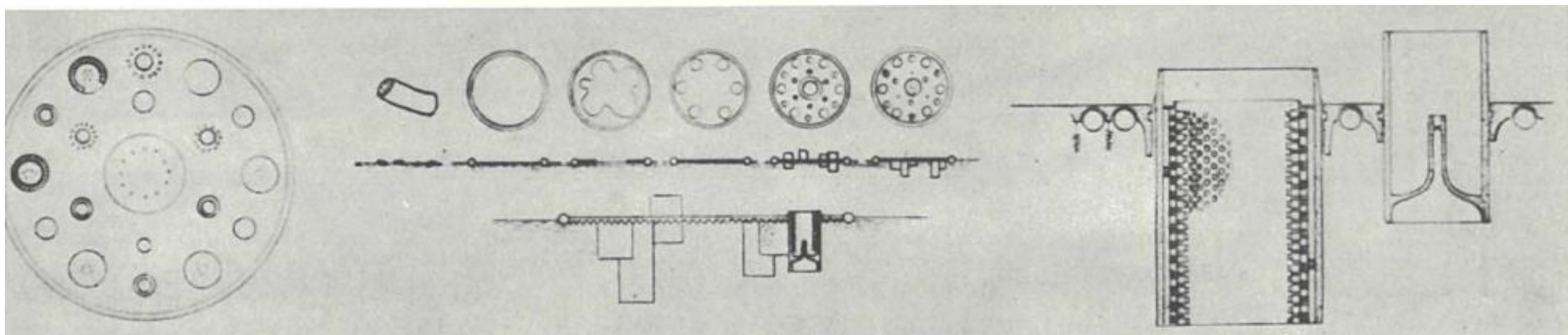
P39 L10

どんな形にもこれを展開
させることができる

提案 その3



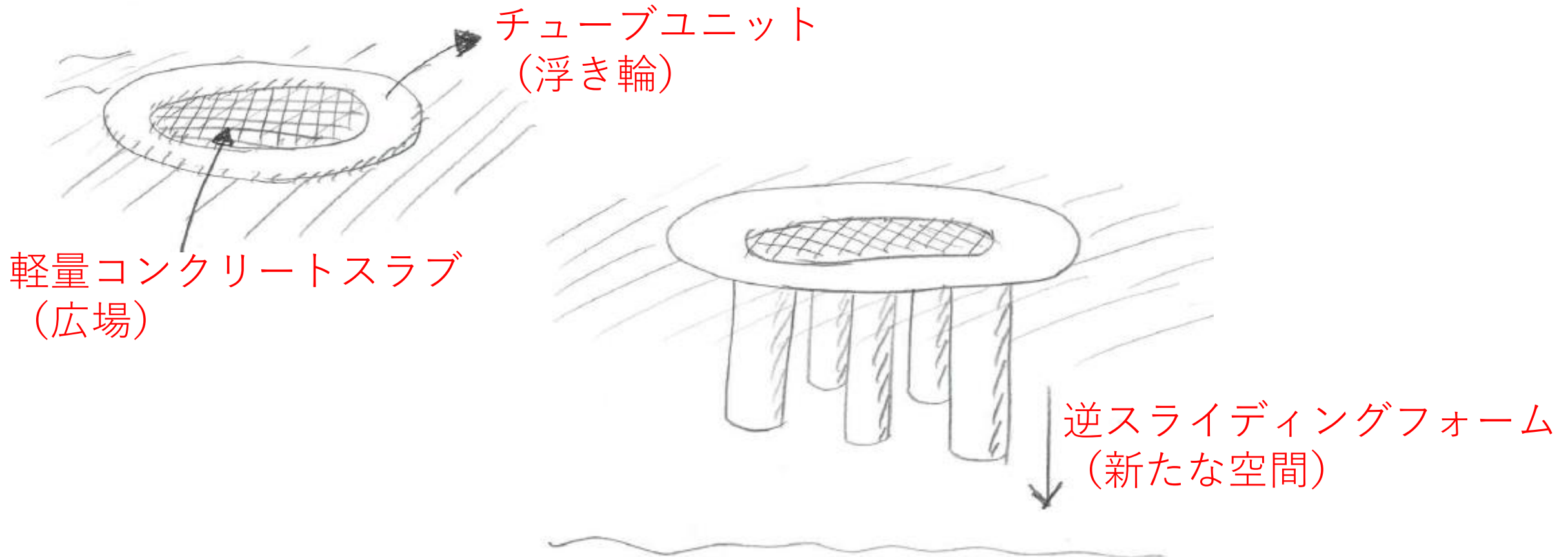
くらげのように、海中に
脚を伸ばしたこの提案は、
宇宙船のように多数の部
材の組立ててつくられる



提案 その3

P40 L7

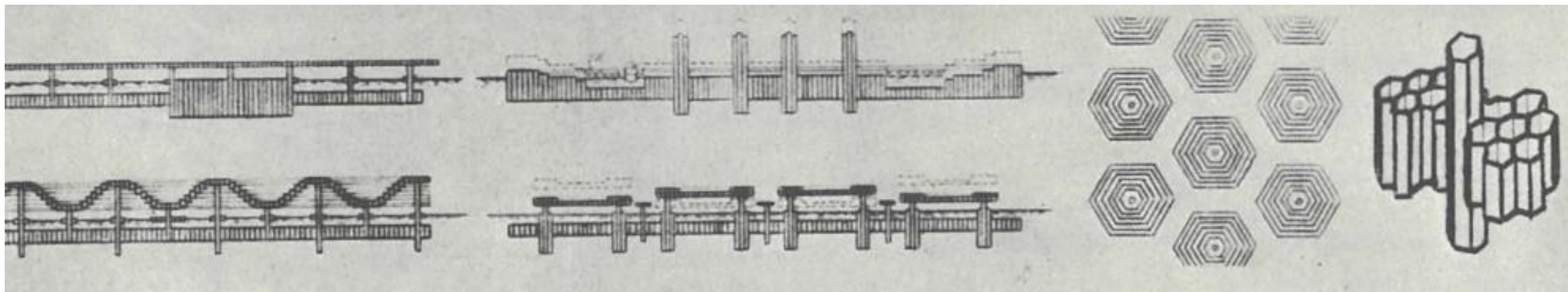
外界と区画して環の中に、一つの世界をつくりだそうという提案



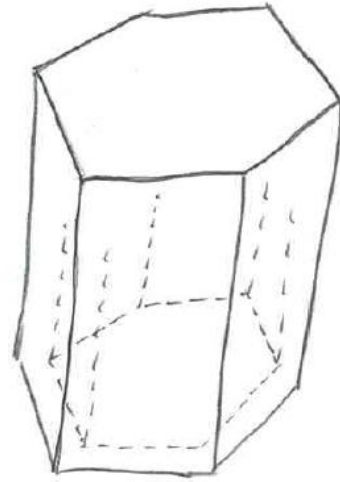
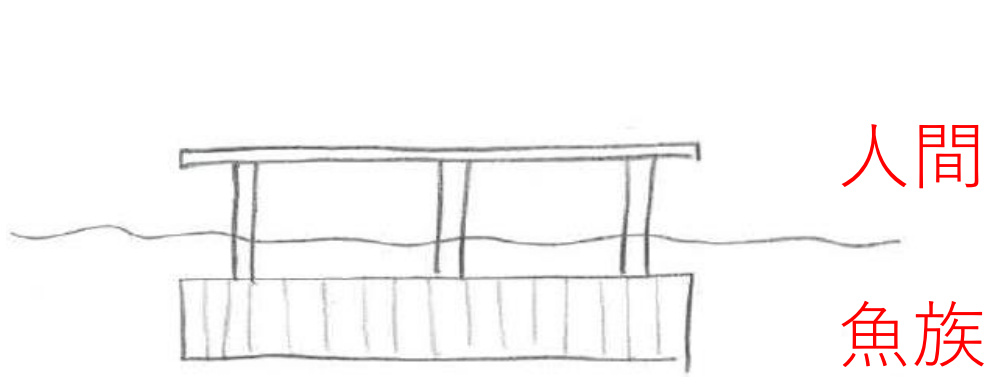
提案 その4



六角柱の構成によるこの提案は、海中と空中の二つの空間とし、波浪を避け、海面を大きくピロティで開放している



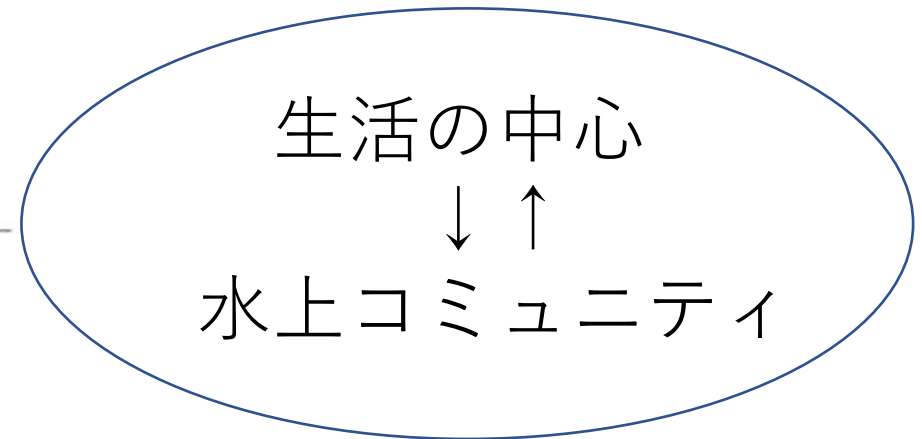
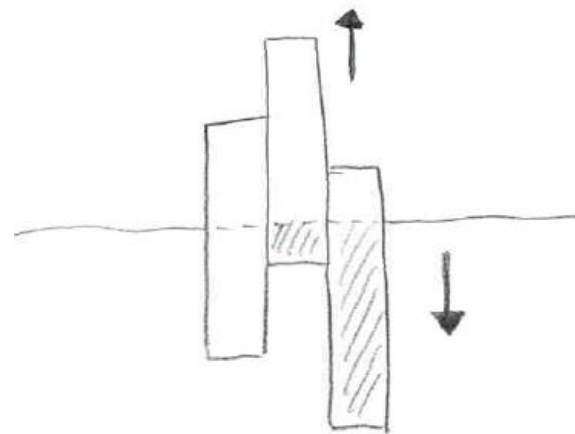
提案 その5



P43 L6 (一部)

壁、床、天井として役立つような
フレキシブルな空間構成

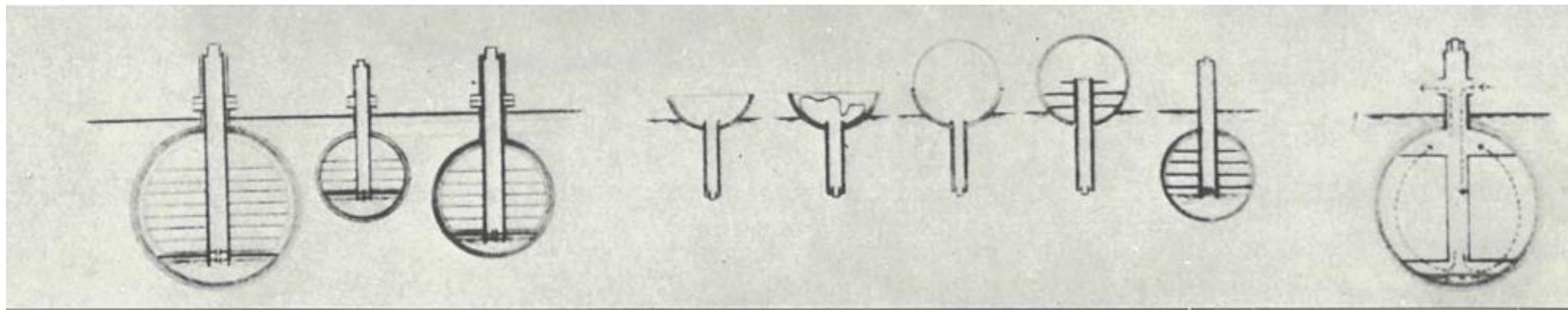
組み合わせによって様々な変化の可能性



提案 その5



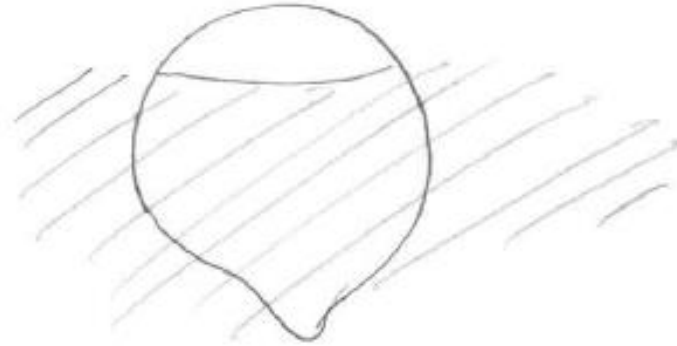
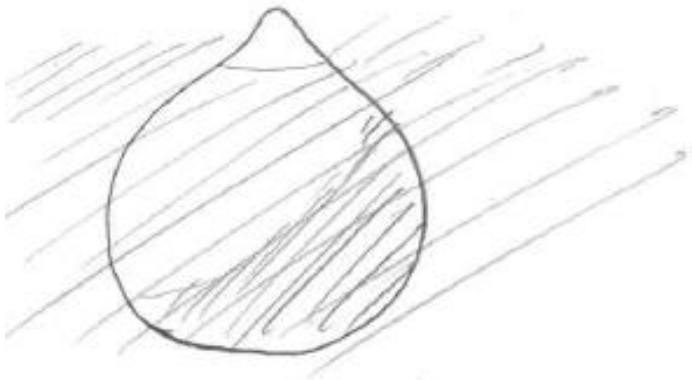
ウキのようなこの提案は、
そのほとんどが海面から
姿を没し、海中に球根と
して計画され、一部分が
空に伸びたかっこうにな
っている



提案 その5

P44 L2

そのほとんどが海面から姿を没して、海中に球根として計画

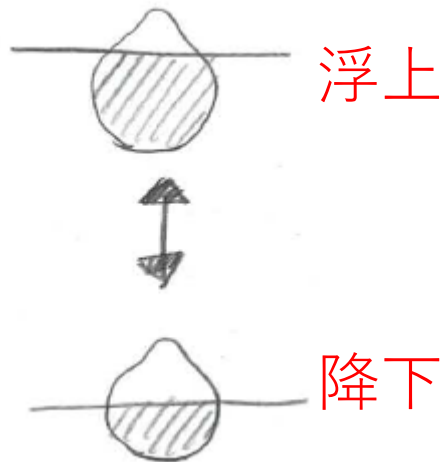


材料
搬入

搬出

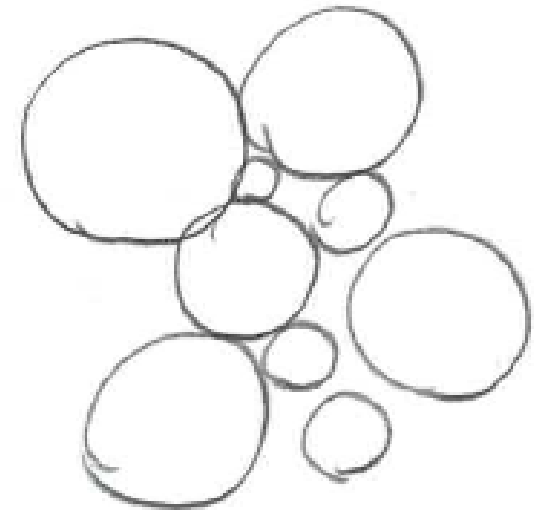


加工 貯蔵



浮上

降下



用途によって大きさは自在
安定性をもって組み合わせる